

※第1回例会はオープン(無料)にしております。ご関心をお持ちの方は体験参加下さい。

# 第7期 オープン・イノベーション 推進者交流会議

—オープン・イノベーション(OI)を推進する仕組み、OIの多様な展開、課題の選出、  
新事業開発の変革と高付加価値の創造をめざす—

日本企業は次代の中核事業を構築する新商(製)品・新事業開発の迅速化が求められ、手段の一つであるオープン・イノベーション(OI)の導入さらにその成果が求められています。

この状況を踏まえ、「課題解決」「テーマ創出」から「新商(製)品開発」「新事業開発」の変革をめざすべく、OIに大きな関心を持つと共に実際に取り組む企業が増えてきております。

当会では、各社OI推進者が業種業態を超えて集い、OIの推進組織、マネジメント施策等について共同研究・分科会研究を行い、自社のOI推進に役立つ研究成果を共有する本交流会議を開設、今期で7年目を迎えます。

第7期本交流会議開催にあたり、趣旨にご賛同いただき、熱意あるメンバーの方々のご参加をお待ち申し上げます。

## ● 第1回例会 ● 2019年12月20日(金) 13:00～18:30 東京・表参道 IVY HALL

### 基調講演 「Hondaの夢を世界の空に～Hondaにおけるジェットエンジン開発～」



Hondaのジェットエンジンは、1986年二重反転ターボプロップで始まり、試行錯誤の末、HF118ターボファンエンジンを独自開発、2003年HondaJetの初飛行を実現させた。これを機にGE Hondaが設立、両社でHF120エンジンを開発、2013年 米国連邦航空局(FAA)の型式認定取得、2015年には量産が開始された。本講演では、約30年間に渡る開発の歴史・技術・学んだ事をご紹介します。

ホンダ エアロ インク 社長 藁谷 篤邦氏  
(フラガイ アツクニ)

#### ◆ オリエンテーション

- ・第6期分科会研究成果の報告(7分科会)
  - ～1. OI推進の仕組み、活動 / 2. イノベーション、フューチャーセンターを基軸としたオープン・イノベーションの取り組み / 3. OIニーズ、課題の選出方法 / 4. 新規事業テーマの創出～SDGsに向けた課題～ / 5. 次世代・未来テーマ探索～モビリティの未来、健康、ヘルスケア等～ / 6. OIの多様な展開 / 7. OI推進共通課題の掘り下げ～
- ・全体コーディネーター 兼 ファシリテーター、運営幹事の自己紹介
- ・本交流会議の進め方

#### ◆ 情報交換会(懇親会)

## ● 第2回例会 ● 2020年1月10日(金) 13:00～17:00 東京・表参道 IVY HALL

### ゲスト講演 「コニカミノルタにおけるオープン・イノベーションへの取り組み」



1. コニカミノルタとBIC Japan
2. オープンイノベーション B2C 事例
3. オープンイノベーション B2B 事例
4. 大企業の新規事業のあるある BIC Japan 流 新規事業開発

コニカミノルタ株式会社 ビジネスイノベーションセンタージャパン 所長  
波木井 卓氏

## ◆ 構成と推進体制

### ■ 全体コーディネーター 兼 ファシリテーター：

一般社団法人 Japan Innovation Network 常務理事  
(前 大阪ガス株式会社 オープン・イノベーション室長)

松本 毅氏

(兼任) ナインシグマ・アジアパシフィック(株) 顧問  
(兼務) 大阪大学大学院 工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻  
客員教授  
(兼務) 大阪工業大学大学院 工学研究科 客員教授



【プロフィール】 1981年に大阪ガス(株)入社後、様々な新規事業創出を成功させる。冷熱利用技術開発に従事。凍結粉砕機の開発、受託粉砕ビジネス立ち上げ。特別プロジェクトグループリーダー。薄膜型ガスセンサーの研究開発に従事。基盤研究所研究企画リーダー。研究所設立・運営企画に従事。技術部門東京駐在として、技術開発国家プロジェクトを担当。燃料電池プロジェクト、水素エネルギー製造・貯蔵プロジェクト、GTL・DMEプロジェクトなどの立ち上げに従事。技術企画室課長。大阪ガスの全社技術戦略の企画立案。海外との技術アライアンス戦略などを推進。人事部で日本発のMOT(技術経営)スクールを設立し、全国で教育事業を推進。

2008年9月、技術戦略部 オープン・イノベーション担当部長、2009年4月、オープン・イノベーション室長。2016年4月から2019年2月まで、(株)ナインシグマ・ジャパン ヴァイスプレジデント。2019年3月から、現職。  
国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)「自己評価委員会」委員/経済産業省「グローバルオープンイノベーションに向けた国際共同研究の在り方に関する調査委員会」委員/NPO法人産学連携学会 理事、大阪市「イノベーション創出支援補助金検討委員会」委員長/日本学術振興会「『未来を創造するイノベーションサイエンスの創成』に関する先導的研究開発委員会」委員/文部科学省「JST国プロ「理化学研究所 健康」生き活き」リサーチコンプレックス推進プログラム事業化支援グループ」ディレクター。

### ■ 研究アドバイザー：可能な限りご出席いただき、研究討議に助言・コメントをいただきます。

P&G イノベーション合同会社 研究開発本部グローバルコネクタンドテックヘッドオープンイノベーション(日本・韓国) J.ラダー キリシヤンナヤ氏

### ■ 運営幹事：メンバーを代表して本交流会議の企画・運営にご支援ご協力をいただきます。

株式会社資生堂	技術知財部技術契約グループグループマネージャー	福西 宏忠氏
サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社	研究推進部主任研究員	前川 知浩氏
株式会社IHI	グローバル・営業統括本部グローバル戦略部課長	今堀 郁枝氏
ハウス食品グループ本社株式会社	研究開発本部イノベーション企画部	竹山 知華氏
大成建設株式会社	技術センター技術企画部技術開発戦略室オープンイノベーションチーム	赤坂 幸子氏
ナブテスコ株式会社	技術本部事業企画部参事	落合 修氏
西日本旅客鉄道株式会社	鉄道本部技術企画部オープンイノベーション室主査	五十嵐翔大氏

### ■ メンバー：OIに強い問題意識をもたれる企業の推進者の方々。

※本音ベースの Give & Take で議論を深めていただくため、相互に守秘義務を遵守いただける方。

## ◆ 本交流会議の特徴

1. オープン・イノベーションの目的、組織の役割、社内外の連携、仕組みづくりなど具体的進め方や新しい流れについて、先進事例研究・ゲスト講演から理解が深まります。
2. 知識・経験をベースに交流を深めることにより業種・業界・組織の壁を越えた新しい発想や手法を学ぶことができ、また、共同研究(分科会)を通じて各社の現場で活かせる施策を共有します。
3. 単なる情報交換だけではなく、その背景にある実務に直結したノウハウの交換が行えます。また、社外のネットワークを広げ、パーソナルバリューの向上、メンバー企業間の技術交流にも繋がります。

## ◆ 研究の進め方

- 第1回例会(12月) 基調講演、第6期分科会研究成果の報告(7分科会)、今後の進め方
- 第2回例会(1月) 先進企業の事例研究、ワールドカフェによる問題意識の交流、希望研究テーマによる分科会編成—これからの研究テーマ、進め方等と発表、他分科会への研究テーマの提案
- 第3回例会(2月) 先進企業の事例研究、分科会研究討議と意見交流
- 第4回例会(3月) 先進企業の事例研究、分科会研究討議と意見交流
- 第5回例会(4月) 合宿研究会—分科会研究討議と意見交流
- 第6回例会(5月) ゲスト講演あるいはメンバー事例、分科会研究討議と意見交流
- 第7回例会(6月) ゲスト講演による先進事例研究、分科会研究討議と意見交流
- 第8回例会(7月) 分科会による研究、集中討議—最終会合に向けたまとめ
- 第9回例会(9月) 分科会研究成果の発表と意見交流・全体討議

## ◆ 開催期間 2019年12月20日(金)~2019年9月16日(水) [毎月1回:全9回(合宿研究会含む)] ※8月例会はございません。

会合日: 12/20(金)、1/10(金)、2/12(水)、3/11(水)、4/17(金)~18(土)(合宿研究会)、5/未定、6/17(水)、7/15(水)、9/16(水)

開催時間: 13:00~17:00

会場: 東京・表参道 IVY HALL

# ◆ プログラム

## 研究テーマ／講演・討議内容

<p><b>第1回</b> 2019 12/20 (金)</p>	<p>◆基調講演  <b>「Honda の夢を世界の空に ～ Honda におけるジェットエンジン開発～」</b>  <small>ホンダ エアロ インク 社長 <b>藁谷 篤邦</b> 氏  <small>(ワラガイ アツクニ)</small></small></p> <p>◆第6期分科会研究成果報告(7分科会)          ◆オリエンテーション(本交流会議の進め方等)          ◆情報交換会(懇親会)</p>	
<p><b>第2回</b> 2020 1/10 (金)</p>	<p>◆ゲスト講演  <b>「コニカミノルタにおけるオープン・イノベーションへの取り組み」</b>  <small>コニカミノルタ株式会社          ビジネスイノベーションセンタージャパン所長  <b>波木井 卓</b> 氏</small></p>	<p>〔分科会の編成〕          テーマ別分科会に分かれ情報・意見交換を行う。</p>
<p><b>第3回</b> 2/12 (水)</p>	<p>◆ゲスト講演  <b>「東レにおけるオープン・イノベーションへの取り組み」</b>  <small>東レ株式会社 オートモーティブセンター 主幹  <b>尾関 雄治</b> 氏</small></p>	<p>〔分科会の編成〕          テーマ別分科会に分かれ情報・意見交換を行う。</p>
<p><b>第4回</b> 3/11 (水)</p>	<p>◆ゲスト講演  <b>「三井化学におけるオープン・イノベーションへの取り組み」</b>  <small>三井化学株式会社 次世代事業開発室長  <b>善光 洋文</b> 氏</small></p>	<p>〔分科会の編成〕          テーマ別分科会に分かれ情報・意見交換を行う。</p>
<p><b>第5回</b> 4/17-18 (金・土) 合宿研究会</p>	<p><b>分科会による研究、集中討議</b> テーマ別分科会に分かれ情報・意見交換を行う。</p>	
<p><b>第6回</b> 5/未定</p>	<p><b>ゲスト講演による先進事例の研究</b>  <b>【分科会】テーマ別分科会による情報・意見交換</b></p>	<p><b>〈分科会研究テーマ例〉</b>          下記研究課題の例示を参考に問題意識の強い希望テーマに分かれて分科会を編成します。</p>
<p><b>第7回</b> 6/17 (水)</p>	<p>◆ゲスト講演  <b>「共創で創る未来          ～価値創造の仕掛けと求められる人財～」</b>  <small>オムロン株式会社 インキュベーションセンタ長          京都大学 経営管理大学院 客員教授  <b>竹林 一</b> 氏</small></p> <p><b>【分科会】テーマ別分科会による情報・意見交換</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. OI推進の仕組み、活動 (推進体制/推進課題/課題克服法)</li> <li>2. OIニーズ、課題の選出方法 (阻害要因/成功要因/OI推進リーダーの育成)</li> <li>3. 新規事業テーマの創出 (テーマ抽出のアプローチ/OIのスタイル/パートナーとの組み方)</li> <li>4. 次世代テーマ探索 (次世代テーマ定義/未来洞察/テーマ評価基準)</li> <li>5. OIの多様な展開 (展開課題/目標設定/テーマ評価基準)</li> <li>6. OI推進共通課題の掘り下げ (イノベーションへのアプローチ/OIの活用方法/ニーズとシーズ)</li> <li>7. プロデューサー人材像の仮説立案と検証 (OI推進者の役割/プロデューサーの型/プロデューサーの視座)</li> <li>8. 希望テーマのビジネスプラン、事業化研究</li> <li>9. ISO56000シリーズを学ぶ</li> </ol>
<p><b>第8回</b> 7/15 (水)</p>	<p><b>分科会による研究、集中討議</b>  <b>—最終会合に向けたまとめ</b></p> <p>※これまで討議した議論を整理し、課題解決策、現場で活かせる提案等にまとめていただきます。</p>	
<p><b>第9回</b> 9/16 (水)</p>	<p><b>分科会研究成果の発表</b></p>	<p>〔意見交流〕          今期の感想、新たな課題等の交流</p>

研究テーマ／講演・討議内容

第1回	■基調講演 オリンパスのX (Cross) Innovation の取り組み	
第2回	■ゲスト講演 富士フィルムのオープン・イノベーションへの取り組み	〔分科会の編成〕
第3回	■ゲスト講演 OKI のイノベーション・マネジメント改革	分科会研究討議
第4回	■ゲスト講演 バイエルのオープンイノベーションへの取り組み	分科会研究討議
第5回	■ゲスト講演(1) 「ノーリツプレジジョンの新規事業開発と オープン・イノベーションへの取り組み」 ■ゲスト講演(2) 「あっとの新規事業開発とオープン・イノベーションへの取り組み」	分科会研究討議
第6回	合宿研究会——分科会による集中研究討議	
第7回	■メンバー事例 P&G イノベーション合同会社のオープン・イノベーション	分科会研究討議
第8回	分科会研究討議 —最終会合に向けたまとめ—	
第9回	分科会研究成果の発表と意見交流	

## 第1期～第6期の参加企業

(一社) Japan Innovation Network

大阪ガス(株)

P&Gイノベーション合同会社

ナインシグマ・アジアパシフィック(株)

アサヒグループホールディングス(株)

ヤンマーホールディングス(株)

サントリーグローバルイノベーションセンター(株)

JX日鉱日石エネルギー(株)

ハウス食品グループ本社(株)

リコーITソリューションズ(株)

武田薬品工業(株)

(株)資生堂

(株)デンソー

帝人ファーマ(株)

アサヒビール(株)

ヤンマー(株)

ブラザー工業(株)

ヤマハ発動機(株)

(株)ダイセル

古野電気(株)

DIC(株)

ライオン(株)

花王(株)

パナソニック(株)

(株)村田製作所

宇部興産(株)

日東電工(株)

日立化成(株)

(株)デンソー

日立造船(株)

三菱ガス化学(株)

小林製薬(株)

住友電気化学(株)

住友大阪セメント(株)

京セラ(株)

(株)トクヤマ

(株)リコー

(株)ブリヂストン

東京電力ホールディングス(株)

三井化学(株)

日本ゼオン(株)

(株)IHI

コスモ石油(株)

日本電気(株)

積水化学工業(株)

(株)日本触媒

TOA(株)

凸版印刷(株)

横浜ゴム(株)

(株)明電舎

古河電気工業(株)

オークマ(株)

(株)LIXIL

コニカミノルタビジネスアソシエイツ(株)

旭化成(株)

(株)フジクラ

(株)ファンケル

(株)日立製作所

(株)ジェイテクト

キリン(株)

オムロンソーシアルソリューションズ(株)

旭化成エレクトロニクス(株)

(株)東光高岳

出光興産(株)

味の素ファインテクノ(株)

西日本旅客鉄道(株)

鹿島建設(株)

三機工業(株)

国立研究開発法人科学技術振興機構

前田建設工業(株)

富士ゼロックス(株)

東芝テック(株)

TOTO(株)

塩野義製薬(株)

(株)島津製作所

高砂熱学工業(株)

(株)富士通エフサス

味の素(株)

AGC(株)

オリンパス(株)

シスメックス(株)

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

JXTGエネルギー(株)

ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ(株)

(株)豊田自動織機

ナブテスコ(株)

日本精工(株)

(株)富士通ゼネラル

横河電機(株)

理想科学工業(株)

## 前期(第6期)参加メンバーの声

- 分科会の活動を通して企業にヒヤリングという、なかなかできない機会が得られて大変勉強になった。
- OIの領域に止まることなく、広い領域でいろいろな気づきがあった。多様な人材が集う環境が良かった。
- 毎回、様々な企業のゲスト講演が聞けたのがすごく良かった。他社の課題なども聞けて良かった。
- 自身の業務での課題に対しての見解につながるアウトプットが得られた。
- 異業種のメンバーとのテーマ討論を行うことで、様々な観点、考えを知り、視野が拡大できた。他。

## 参加要領

**正会員** 308,000円 (本体価格280,000円)

**一般** 330,000円 (本体価格300,000円)

※1口で2名までご参加いただけます。

### 参加費

- 上記参加費には、通信費、資料代、飲食費等の他に下記費用が含まれます。
  - (1) 合宿研究会費：33,000円／1名分(税込)  
※2名ご参加の場合は他に1名分として、33,000円(税込)をご負担いただきます。  
※行き帰りの交通費は含まれませんので各自でご負担下さい。
  - (2) 懇親会費：44,000円／2名分(税込)
- 分割・次年度支払い等も可能です。お気軽にご相談下さい。

### お申込方法

下記の「第07期参加申込フォーム」からお申込み下さい。

<https://www.bri.or.jp/openinnovation/>

企業研究会 オープン・イノベーション推進者交流会議

※お申込みいただきました後、請求書を発行致します。

### 事務局

## 一般社団法人 企業研究会

担当：小野原(onohara@bri.or.jp)・田口(taguchi@bri.or.jp)  
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR麹町ビル 2F

**TEL：090-6797-1794** (田口)

※毎例会のご案内はメール配信致します。